

# ライオン インフルエンザ不活化のメカニズムを世界で初めて解明

## オーラルケアは「全身の免疫サポート」へ

オーラルケアが「全身の免疫力を支える」時代へ——。インフルエンザが流行する中、日常の何気ない習慣が持つ「防御力」が、科学の目によって明らかになった。ライオンは、歯みがきが唾液のインフルエンザウイルス不活化能を有意に高めることを、世界で初めて確認した。この発見は、「口腔ケアが単なる清潔維持にとどまらず、感染症リスクの低減という「全身の健康維持」に深く関わることを、定量的に示した点で画期的だ。オーラルケア市場におけるパラダイムシフトの兆しとも言えるだろう。

恵一副学長も、「口腔ケアによって唾液の免疫機能が向上するという今回

の研究結果は、他に例を見ない新たな発見」と高く評価している。

### 「予防」から「防御力強化」へ

#### 5分の歯みがきで、唾液のウイルス抑制力が劇的に向上

ライオンが実施した調査では、20代～50代の健

康な男女16名（う蝕・歯周病が無い人を対象に、歯みがき前後の唾液の変化を分析した結果、5分間の歯みがき後の唾液は、インフルエンザウイルス（H1N1株）に対しても顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効果の背景にあるメカニズムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」

注目すべきは、この効

果の背景にあるメカニズ

ムの一端が明らかになっ

たことだ。

研究では、歯みがき後

に唾液中の総細菌数が減

みがきによって口腔内の

清潔度が高まり、唾液が

IgA抗体など

がより

効果的に働く環境が整う

ことを裏付けている。

神奈川歯科大学の榎木

は、インフルエンザウイ

ルス（H1N1株）に対

して顕著な感染抑制効果を示した。具体的には、少した人ほど、ウイルスの細胞感染を抑える力が、歯みがき前

60%から、わずか5分後

「メカニズムの鍵は

「総細菌数の減少」